

試験報告書



株式会社ファーストソリューション

1.目的

浄水場の汚泥にMC処理を行い、搬出時(48時間後を想定)に自立して床面に置けるかの確認を行う。

2.試験要領

- | | |
|--------|---|
| 1)検体 | 浄水場で発生する汚泥 |
| 2)試験手順 | <ul style="list-style-type: none">①汚泥に粉体凝集剤(フロックマン、1,000ppm)を添加する。②攪拌後、フロックの形成状態の確認を行う。③エコポーチに投入、48時間放置する。④エコポーチを床面に置き、目視にて安定しているかの確認を行う |



〈ビーカーテスト状況〉
仮設タンク(黄色:塩ビ製 100ℓ)
の中の汚泥にフロックマンを添
加(1,000ppm)・攪拌する。フ
ロックの形成状況の確認を行
う。



〈ビーカーテスト状況〉
エコポーチの原反(カワリ織り、
ポリプロピレン製)でろ過を行う。



〈ビーカーテスト状況〉
ろ過完了(メスシリダー内は脱
離液)。



〈実機を使っての試験状況〉
吊るしたエコポーチにフロックを
投入。



〈実機を使っての試験状況〉
エコポーチからの脱水状況。



〈実機を使っての試験状況〉
48時間後。



〈確認〉
エコポーチを床面に降ろしたときの状況。エコポーチが安定して自立している状況の確認を行った。



〈確認〉
エコポーチ内観。(トラックの荷台に積んだときの状況。)